

# 令和4年度 進路指導部 活動方針

R4.4.5

## I 方針

1 教育活動が計画的、かつ円滑に行われるよう、学年会、運営委員会、職員会議を通して分掌担当事項について提案を行う。

## 2 組織及び仕事内容と分担

|   | 項 目               | 1年      | 2年       | 3年       | 内 容                                                                                                        |
|---|-------------------|---------|----------|----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | キャリア教育<br>進路指導    | 菅       | 高野       | 真下       | 1年 職業調べ 2年 職場体験 上級学校調べ<br>3年 自己の進路<br>全学年 キャリアパスポート AI Grow                                                |
| 2 | 入試関係事務            | 真下      |          |          | 進路・入試関係事務 スピーキングテスト                                                                                        |
| 3 | 総 合<br>学 活        | 菅<br>曾田 | 宮崎<br>高野 | 真下<br>江原 | 1年:郷土学習(日野) 2年:校外学習(東京) 職場体験<br>3年:修学旅行(京都・奈良)<br>※)3年間を通して「地域」との関わりを学習する。<br>なお、各学年の総合年間計画・実施記録は、学年担当で行う。 |
| 4 | 道 徳               | 曾田      | 宮崎       | 江原       | 年間計画、学年の指導計画、道徳授業地区公開講座                                                                                    |
| 5 | 人権教育              | 宮崎      |          |          | 関連会議への出席、人権作文(2年)実施案など                                                                                     |
| 6 | 図 書               | 江原 真下   |          |          | 学校図書の管理・購入・貸出(図書協力員との連絡・調整)、朝読書企画・運営、図書委員会指導                                                               |
| 7 | OJT 若手育成<br>働き方改革 | 高野 宮崎   |          |          | 若手教員育成研修の企画・運営 指導教員および教科指導教員の選定の調整 働き方改革の提案と実践推進                                                           |
| 8 | 中教研運担当            | 菅       |          |          | 中教研の運営委員として、校内への呼びかけ、担当会議への出席を行う                                                                           |

## 3 【総合的な学習の時間の取り組み】

→ 地域とのつながりを対象にした、3年間を見通した取り組み

1年:日野調べ、国際理解 2年:職場体験、東京学習 3年:修学旅行

※その他、進路学習として「上級学校訪問」(2年)がある

詳細は、別紙にてお示しします(「各学年 総合的な学習の時間年間計画」)。

## 4 【道徳の取り組み】

全内容項目を計画的に実施すると共に、実施記録を残す。道徳地区公開講座実施の中心となる。

## 5 人材育成とOJTの取り組み

目的 1年目から3年目の若手教員に対して、職務を遂行する上で必要とされる学習指導、生活指導、進路指導等に対する指導力の向上、教育公務員としての資質向上のため、経験豊かな教員の実践的知識や指導技術を次世代に引き継ぎ、人材育成を図る。

具体的活動 1年目～3年目の若手教員に対して指導教員、教科指導教員を配置。

→指導教員と教科指導教員からの指導と助言等をまとめ報告書を作成する。

## 6 その他

「命の授業」の学年配当を検討・整理する。